

## 資本市場に関する理論と実際 - 債券とは(8)

債券の話は今日が最終回です。最後に日本と米国の国債の種類を整理しておきましょう。

### 日本国債と米国国債

日本国が財政上の必要に応じて発行する債券<sup>1</sup>です。債券の中では、最も信用があり、流動性が高い（流通量が多い）債券です。国債には、超長期国債、長期国債、割引国債、中期国債、短期国債、政府短期証券などがあります。

#### 超長期国債

現在、15年物、20年物、30年物があります。

#### 長期国債

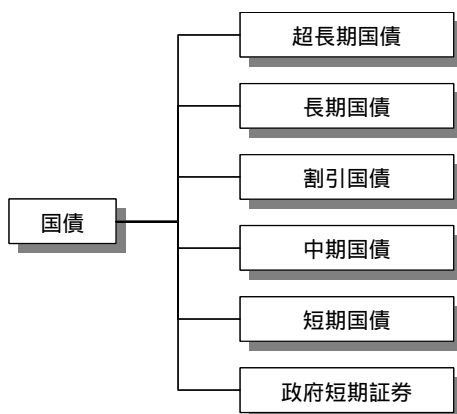
期間は6年～10年の国債です。10年長期国債は、原則的に毎月発行されており、日本の債券市場の中心的な存在です。

#### 中期国債

期間が2年～5年の国債です。利付国債としては、2年物と5年物があり、「中期国債ファンド」が有名です。割引国債は3年物が発行されており、「ワリコク」と呼ばれています。

#### 短期国債（TB：トレジャリー・ビル）

期間は6ヶ月、1年物の2種類で、法人のみの保有に限定されています。



#### 政府短期証券（FB：ファイナンシャル・ビル）

国庫の一時的な資金不足を補うために発行される国債です。償還期間は原則13週間です。

<sup>1</sup> JGB(Japanese Government Bond)と呼んだりします。

米国財務省証券のマーケットは最も大きく、重要な債券市場であることは疑いの余地はありません。2005年1月で、米国財務省は7.5 trillionの国債を発行しています。発行残高や売買高ともに非常に多いことから、流動性に優れています。米国国債は、満期までの期間によって、短期、中期、長期の3つに分けられます。

#### トレジャリー・ビル(Treasury Bills)

短期(一年未満)の割引債で、3ヶ月、6ヶ月、1年物があります。特にレートがあるわけではありませんが、額面に対して、ディスカウントして売りに出されます。たとえば、期間1年の額面100ドルの国債が90ドルで売りに出されるわけです。国債の購入者は、90ドルでその国債を買い、1年後の満期時に100ドルを受け取ります。

#### トレジャリー・ノート(Treasury Notes)

財務省は中期(満期1~10年)の利付債をトレジャリー・ノートと呼んでいます。最も発行量が多く、2年もの、5年もの、10年ものがあります。

#### トレジャリー・ボンド(Treasury Bonds)

長期(10年超)の利付債を指します。30年物があります。期間が異なるだけで、仕組みは同じです。